

平成 22 年 7 月 22 日

最先端IT・エレクトロニクス展
CEATEC JAPAN 2010

開催概要発表

- 7月23日からWeb入場事前登録を開始 -

CEATEC JAPAN 実施協議会

Digital Harmony - 機器と機器、技術と技術、技術と人、技術と地球環境。世界が注目する今年の CEATEC JAPAN は、『Digital Harmony - もっと快適に、もっとエコに』を開催テーマに、技術の進化と快適性の両立を実現するデジタル技術、製品、サービス、コンテンツの調和が奏でる次の地球、社会、ビジネス、暮らしの活力を世界に向けて発信します。

一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ: 会長 川村 隆 / 株式会社日立製作所 代表執行役 執行役会長) 社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA: 会長 下村節宏 / 三菱電機株式会社 取締役会長) 社団法人 コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ: 会長 和田成史 / 株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長) の 3 団体は CEATEC JAPAN 実施協議会として、本年 10 月 5 日 (火) から 10 月 9 日 (土) までの 5 日間、幕張メッセ (千葉県美浜区) にて、最先端 IT・エレクトロニクス展『CEATEC JAPAN 2010』(シーテック ジャパン 2010) を開催します。

次の 10 年への挑戦 / 今後 3 ヶ年の強化ポイント

CEATEC JAPAN は、2000 年の第 1 回以来、10 年間、最新・最先端の IT・エレクトロニクスを日本から世界へ向け発信し続けてきました。

11 回目の開催となる今年の CEATEC JAPAN は、これまでの 10 年で蓄積した経験、実績、ブランドバリューをベースに、急速に変化する経済環境やデジタル社会での産業、市場動向を踏まえ、産業界の発展と参加企業へ貢献する強い意志と戦略を持って、挑戦し続けます。

CEATEC JAPAN は、これからの 3 年間で、従来の展示会という機能の枠を超え、国際会議や学会、視察団などを積極的に誘致するなど、国際的なビジネス機会を複合的に集約した「MICE」を目指し、コアユーザー、他業界ユーザー、一般の方々、そして海外へ向けた「情報価値と発信力」をさらに強化し、参加企業、来場者、全ての関係者の「ビジネス効果」をさらに高め、海外マスコミの誘致、アジアユーザーの誘致、国際会議との連動など、「国際化」の強化をさらに図り、国際的な次世代展示会への変革を強力に推進します。

開催日ごとの位置付けを明確化、来場者と出展者の目的をマッチング

CEATEC JAPAN では、5 日間の開催日ごとの特徴を明確化することにより、来場者と出展者の目的をマッチング、新たな一步を踏み出します。

特別招待日：10月5日（火）10:00～17:00

従来のプレミアムタイム（10:00～12:00）を拡張して終日とし、マスコミ、官公庁等来賓、出展者経営幹部、特別招待者等を対象にプレゼンスの高いビジネス交流、情報発信の場を提供します。

公開日：10月6日（水）～8日（金）10:00～17:00

招待者、他業界ユーザー、一般来場者等

無料公開日：10月9日（土）10:00～17:00

一般来場者、次世代を担う学生、平日来場できないビジネスユーザー等を対象に完全入場無料として公開します。

商談を効果的にサポートする「CEATEC Suite」（新設）

CEATEC JAPAN では、ベンダーとユーザーのビジネス・ニーズに応え、専門展示会の効率と総合展示会の数量を併せ持つ B to B 特別ゾーン「CEATEC Suite（シーテック・スイート）」を新設、国内には例を見ない新しいトレードショーとして、新たなビジネス創造に貢献します。

会期・会場：10月6日（水）～8日（金）10:00～18:00 [3日間] / 展示ホール 7-8

話題性の高いキーノートスピーチ/コンファレンス

特別招待日の10月5日（火）には、日立製作所・川村隆会長、三菱電機・下村節宏会長、オービックビジネスコンサルタント・和田成史社長によるキーノートスピーチを行うほか、IT・エレクトロニクス業界におけるキーパーソンが10月8日（金）までの4日間、話題性の高いメッセージを世界へ向けて発信します。

そのほか、業界動向を俯瞰できる「トレンドセッション」、「アドバンスセッション」をはじめ「ソフトウェア&ソリューション」、「情報システム」、「通信ネットワーク」の各技術セミナーを開催します。出展者が自社の技術・製品・サービスを紹介する「出展者セミナー」も合わせると、合計100セッションを超えるセミナーを予定しています。

さらに、今回新たに、「電子情報通信学会」（主催：社団法人電子情報通信学会）を併催、クラウド・コンピューティングや情報通信技術がつくる近未来の医療技術などをテーマに、10月5日から9日まで、5日間連日で開催、CEATEC JAPAN 来場者は無料で聴講可能となっています。

新しい産業分野への領域拡大

デジタルネットワークは、わたしたちの暮らしや社会、ビジネスを便利に楽しく快適に、より質の高いものへと大きく変化させてきました。

そして今、デジタル技術や情報通信技術は、持続可能な低炭素社会の実現に貢献する基幹技術として、従来の枠を超え、「自動車」、「エネルギー」、さらには「健康」関連分野にまで、その役割や領域、市場を大きく広げつつあります。CEATEC JAPAN は新たな産業分野への領域拡大を先導します。

自動車

電気自動車（EV）の市場に期待が集まる中、既に実用化が進む日本の取り組みと IT・エレクトロニクス産業との連携について、技術、サービスなど様々な観点から最先端の情報を紹介し、エネルギーと情報の受発信ステーションとしてその役割を広げる EV の世界を体感していただきます。

10月5日(火)の午前中には、ゲストスピーチとして、三菱自動車・益子修社長、日産自動車・山下光彦副社長の講演があり、次世代の自動車を展望します。

また、EVを中心としてスマートグリッドと一体となった近未来都市を紹介する3Dシアターを展開するほか、電気自動車の試乗会などを行います。

エネルギー

地球温暖化防止への意識が世界的に高まる中、電力の需要と供給をIT技術によって効率的に調整する「スマートグリッド」が新たな市場として注目されています。

今回のCEATEC JAPANでは、経済産業省、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のご協力により、グリーンIT・省エネ、環境関連要素技術、創エネ・蓄エネ、スマートハウス関連、そしてEV(電気自動車)や社会インフラなどを網羅し、低炭素社会実現に向けた日本型スマートグリッドを世界に向けてアピールする「スマートグリッド・イノベーション2010」を展開します。

当コーナーでは、NHK/JEITAブース「なっとく!デジタル・エコハウス」を展開します。テレビの完全デジタル化まであと9か月、放送は新たなステージへ進化しようとしています。アナログとデジタルとの比較を交えて、地上デジタル放送の導入方法やテレビのデジタル化で得られる新しいサービスを紹介します。さらに、デジタル化による省エネを見える化し、環境にもやさしい展示で「デジタル・エコハウス」を納得していただきます。

また、グリーンIT推進協議会では、「グリーンITパビリオン」を開催し、各社の省エネ技術などを幅広く紹介するほか、併せてシンポジウムも開催いたします。

健康

今回新たに、「デジタル・ヘルスケアPLAZA」を企画、情報通信技術を活用して、豊かで健康的な社会を実現できるよう、人々が自身の健康を効率的に管理し、医療従事者がさらに質の高いサービスを提供できるようなエコシステムや様々な医療機器やサービスを連携させてパーソナル・ヘルスケアの質的向上を支援する技術を広く紹介します。

変革する映像・放送・通信技術に期待。(デジタルネットワークステージ)

地上デジタル放送完全移行が目前に迫る中、CEATEC JAPANのデジタルネットワークステージでは、技術革新が進む薄型テレビや3D映像の普及へ弾みをつける最新ディスプレイ技術など、最先端技術を広く紹介します。

「HATS PLAZA(HATS推進会議)」は、ブロードバンドサービス、SIPによるVoIPサービス、MPEG-4、PBX間接続及びFAXなどの相互接続性のデモ展示や関連商品を紹介、「アクセシビリティPLAZA(情報通信アクセス協議会)」は、体の不自由な方・高齢者等が、より便利に利用できる端末・サービスを紹介します。

さらには、モバイル・ネットワークにおける次世代高速移動体通信技術として注目のWiMAX(Worldwide Interoperability for Microwave Access)や、第3.9世代携帯電話と呼ばれるLTE(Long Term Evolution)など、様々なネットワークの最前線を体感できる機会を提供する予定です。

ビジネスチャンスを見逃さない。世界に誇る「日本のものづくり」(電子部品・デバイス&装置ステージ)

デジタル情報家電、携帯情報端末はもとより、カーエレクトロニクスや医療・福祉機器など、最先端技術の基盤を支えているのが電子部品・デバイスです。より小型化、薄型化する機器や高信頼性、安全性が求められる製品に対応するため、高機能化、極小化・低背化に加え、高耐熱性、高耐久性が急速に進んでいます。また、IT・エレクトロニクス製品のほか、自動車、住宅設備など、さまざまな製品分野の省エネ、CO₂排出削減を実現する要素技術として注目され続けています。

CEATEC JAPAN の電子部品・デバイス&装置ステージでは、世界に誇る「日本のものづくり」が織りなす最先端技術が集結し、大きなビジネスチャンスの場を創出します。さらに、全国の地域・自治体との連携・協働により、地域における IT・エレクトロニクス産業の集積促進とすぐれた地域関連企業を紹介する「NIPPON Innovation Plaza」の展開等、時流を逃さずチャンスへとつなげる様々な出会いの場が生まれます。

2010 年開催規模

展示会場規模は前回同様、幕張メッセ 1~8 ホールを使用して開催します。出展者数・小間数は、7月22日現在で、417社/団体(うち海外:14カ国/地域から167社/団体)2,189小間。最終的には昨年の開催規模を上回る見通しです [2009年最終実績:590社/団体(うち海外:22カ国/地域から263社/団体)2,123小間]

開催期間中の登録来場者数は、20万人を目標としています [2009年実績:150,302人]

入場事前登録および公式 Website

7月23日(金)より、公式 Website にて入場事前登録並びにキーノートスピーチの聴講予約の受付を開始します。事前に入場登録をいただければ、入場が無料となります。9月17日(金)までに登録いただくと、スムーズに入場できる入場証を予め郵送します。

最新情報が続々公開される CEATEC JAPAN 公式 Website の URL は下記のとおりです。

<http://www.ceatec.com>

以上

プレス向けサービスについて

『CEATEC JAPAN 2010』では、7月22日の記者会見にご来場いただき、受付をされた報道関係者の方々と、8月20日(金)~9月17日(金)の期間にオンラインプレス登録していただいた方々には、会場にスムーズに入場いただける『プレス証』を事前にお送りします。

ご登録いただいた方には、事前の情報提供や各種サービスをご提供します。

本件に関するお問い合わせ

CEATEC JAPAN 運営事務局 (一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会)

担当: 金子 電話:(03) 6212-5233 E-mail: press2010@ceatec.com